

# えんちょう通信

No.96

令和5年5月10日  
福島市立清水幼稚園  
発行者 佐藤一男

## 一緒にお弁当を食べられる喜び



5月8日(月)、1年ぶりに子どもたちと一緒に、お弁当を食べました。この日は年長組の子どもたちと食べることにしました。

一緒にテーブルを囲んで食べていると、子どもたちはいろいろな話を聞かせてくれます。

近くの席の女の子に、「長い休みは、どこかに、行ってきたの？」と聞くと、「動物園に行ってきた。」と教えてくれました。

「どんな動物がいたの?」、すると「うさぎ、鳥、それから馬。」「アルパカもいたよ。」と、嬉しそうに話してくれました。

出かけて、見てきたことをきちんと言葉で伝えられるのは、とても大事な国語の力だと思います。出かけたことが、この子の心に中に残っているのだなと思いました。

別のテーブルの男の子は、「僕、足し算できるんだ。」「2たす3は5」「200たす300は、500だよ。」と教えてくれます。「すごいね。」と言うと、さらに「500たす500は、1000だよ。」と、教えてくれます。桁が上がっていくのもちゃんと分かっています。子どもは本当にすごいなと思います。聞いていた周りの子は、「僕も、足し算できるようにになりたいな・・・。」と思ったかもしれません。

お弁当を食べながら、隣の子に話しかけたり、友だちや先生の話の話を聞いたりする中で、子どもたちが学んでいくことは、たくさんあるのではないのでしょうか。

5月8日、新型コロナウイルス感染症が5類の感染症に移行となりました。友だちや先生と楽しく会話をしながら、お弁当を食べられるようになって、本当によかったなと思っています。みんなで一緒にお弁当を食べられる喜びを感じています。

## 環境整備作業、ありがとうございました

5月9日(火)、今年度最初のPTAによる環境整備作業が行われました。環境委員さん7名と梅津会長さんと林副会長さんが来てくださいました。ブランコの周りや駐車場の側溝の中の草をきれいに取っていただき、その草はごみ袋8つ分にもなりました。本当にありがとうございました。

園庭で遊んでいた子どもたちが、「僕のお母さん、来てよ。」「うちのお母さんも来てよ!」と笑顔で教えに来てくれます。やはりお母さんやお父さん、おばあちゃんやおじいちゃんが幼稚園に来てくれることは、子どもにとって本当にうれしくて、誇らしいことなのだろうと思います。

麦茶を飲みながら休憩をしていると、小学校の校庭から鼓笛隊が演奏する清水小学校の校歌が聞こえてきました。1時間ほどの時間でしたが、とても穏やかで豊かな時間となりました。

